

No.89

会 報

1999 (平成11) 年9月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会

事務局 〒424-0888 (株)建設コンサルタント内 (TEL 0543-45-2155(代) FAX 0543-44-2105)

会 長：渡邊佐一郎 専務理事：木村 芳正

編集担当者：稲葉 弘之 北本 達治 勝又 幸雄

振込口座：静岡銀行 御殿場支店 普通預金 0634554 静岡県技術士協会 会計 小川誠慈 (0550-83-8643)

http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/ http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/

1998年度第4回例会(見学会)報告

1999年3月2日(火) 14:00~

於：ヤマハ発動機(株)コミュニケーションプラザ



【施設全景】

はじめに

春の到来を予感させる爽やかな風のなか、3月2日(火)14時より当会1998年度第4回例会が磐田市で開催された。Jリーグ1999年開幕を4日後にひかえ、準備整ったジュビロ磐田スタジアムの向い側に蕭然とたたずむヤマハ発動機(株)コミュニケーションプラザに総勢31名の会員が集合した。

1. 施設の概要

1階のプレゼンテーションルームにて、施設の全体的な説明を受ける。1~2階は主として展示スペースで、同社のオートバイ第一号車(YA-1型)にはじまり今日世界各地の工場で生産されている現行モデルに至る実車の展示や、競技用に制作された人力飛行機「極楽トンボ」、人力ポート、マリンスポーツ関連の製品等がフロアの有効に使ったディスプレイとなっている。3階はホール、会議室、応接室及びカフェからなり、各種の研修、

会合のための空間としている。

建物は、全体が免震構造となっており、同社の開発したガス空調システムをどうした省エネビルディングである。

わずか10分程度の説明であったが、女性プレゼンテーターによる美しくわかりやすい説明であった。



1. YAMAHA・会社紹介映画

続いて会社紹介の映画「YAMAHA AND YOU」を上映。いわゆる企業イメージのPR映画である。誰もがヤマハで思いあたるオートバイ、プレジャーボート等の製品のほかに、ATV（道路でない原野や牧草地の自然を荒らすことなく移動できる小型車両・サンドバギーに似ている）の紹介が目立った。いずれもユーザーの視点に立った自然な構成のうちにYAMAHAのイメージが明確に示される内容であった。

3. 館内見学

1階の展示物から順に、吉田館長（同社総務センター）の直接の説明をいただきながら全体を見学。

特に参加者の注目を集めた展示物としては、YAMAHA初号機オートバイであるYA-1型（1955年製）、トヨタ自動車との共同開発による国産スポーツカーとして知られるTOYOTA 2000GT（1967年製）いずれも実車で展示。

また、競技参加を目的に作られた人力飛行機「極

楽トンボ」これは実機の展示であるが、全幅が大きすぎるために胴体と片側の主翼までのものであった。

このほか、会社黎明期の製品から現行モデルにいたる製品群多数がほとんどすべて実物で展示され、参加者それぞれの年代に見合った場所で、少年時代のあこがれの対象を前に佇む姿が見られた。



4. 質疑応答

館内見学終了後、3階会議室に一同集合して質疑応答。説明役として吉田館長と佐々木技師があたられた。参加者多数からの質問に対する誠実な説明をいただいた中で印象深い一言、「最初から世界に通用する仕事を念頭に取り組んできた」

地方の中小企業として発足した当初から、会社の向かうべき目標を世界におき、常に高いものを目指しつづける姿勢をもつこと、それを維持する努力を込めた館長の一言が、今回の見学のメインテーマであったといえる。

5. 懇親会

磐田グランドホテルに場所を移して懇親会がもたれた。当日の参加者の大半がそのまま出席。席上、いつものとおり初参加、新規入会会員のスピーチあり、会員消息の話題ありの盛会のうち19時過ぎお開きとなった。

【投稿】

下水道料金と受益者負担金(1)

【料 金】

会員 稲葉弘之(水道部門)
環境企画エンジニアリング(株)

イントロダクション

『下水道がひけるそうだよ』、『水道料金がうんとあがるそうだよ』、『さらに受益者負担金もとるんだってよ』、『それならいままでいいよ』・・・こんな話が方々の家庭でささやかれるようになりました。

下水道が生活環境の向上や水質保全に欠かせない公共施設であることは、もはや誰もが認めるところであります。しかし、いざ利用する段になると結構お金がかかるしくみになっています。

このことがもとで下水道を利用しない家庭も少なくないと自治体担当の方がこぼすのをしばしば耳にします。下水道料金や負担金のしくみについての無理解が障害となっていると指摘する向きもあります。

そこで、そのしくみと水準について2回にわけて述べたいと思います。

今回は料金を取り上げます。

『水道料金がうんとあがる』のなかみ

下水道使用料金は、水道使用量をもとに計算されるのが一般的です。

下水の原料は水道水であるというのがその根拠です。井戸を使用する場合には別に査定するしくみが普通とられています。こうして得られた下水量をもとに下水道料金を計算します。料金徴収事務の簡素化などの理由から下水道料金は水道料金と一緒に請求されます。このため水道料金があがるように勘違

いされます。

『下水道使用料』のなかみ

下水道使用料の単価は108.8円/m³(平成7年度全国平均値)くらいです。

県下ではおおむね水道料金単価が100円/m³以下ですから、あわせると以前の倍以上になる勘定です。『水道料金がうんとあがる』ように思われるのは、このような事情によるものです。

統計によりますと、下水道使用料単価は上のとおりですが、汚水処理原価は205.0円/m³かかっています。これには処理場の維持管理費のほかに施設建設時の起債の元利償還費が含まれています。したがって、これをすべて料金で充当する必要はなく、実績としては上のような料金となっています。不足分はふつう税金(一般会計からの繰り入れ)でまかなわれます。

なお、純粹に下水処理にかかる費用(処理場の維持管理費)は、72円/m³程度です。

下水道使用料は、大都市のほうが安く、地方都市は割高な傾向があります。大都市では規模のメリットがはたらくことと建設費の元利償還費の負担比率が低いことが主な原因と思われます。

かたや、水道料金は地方都市のほうが安い傾向がありますから、相対的に下水道料金の割高感を助長する結果となっているようです。

【特別寄稿】

安全衛生研究会の発足に寄せて

旭技術事務所代表取締役

技術士・労働安全コンサルタント 加藤幸男

はじめに

今年度の静岡県技術士協会の新規の企画として、安全衛生の研究会をスタートすることで、この道で仕事をしている私にとって誠に喜ばしい快挙であると思う。

技術士の所属部門は、当初16部門であったものが、現在では19部門ということで、40年を経過した今日、科学技術の進展や多様化によって広がりを見せている。

どの部門においてもマン・マシンの関係は存在しているので災害の危険性は必ずや付きまとっているわけで、この時こそ身近にあるべき安全の問題について研究会のメンバーが夫々の立場から取組んで「0災」を目指したいと考えるものである。

技術士と労働安全コンサルタント

昭和47～8年頃、機械部門の技術士新井政太郎（海軍技術少将）氏からの話として近く労働省が所管して労働安全コンサルタント制度を発足させるとのこと、この場合、技術士業務を10年以上経験している者を選抜して特別教育を実施し、筆記試験を免除することになるとのことであった。

その様な初期の頃の会合が銀座の交詢社で開催されていたので私もよく出席していたものであった。

この様な経過を辿って、昭和49年第1回試験が実施されて、労働安全コンサルタント304名、労働衛生コンサルタント204名が合格をした。

この辺の状況は「日本技術士会三十年史」

にコラムとして記載されているのでご覧いただきたいと思う。

人間尊重こそ安全の基本

1908年10月、カミロ・オリベッティはオリベッティ社（イタリー）を創立するに当って「最も尊重されるべきは《人間》であり、いかなる時代にも、決して、技術や物質が人間の上位をなしてはならない。」と宣言し実践している。欧州に根付いてきたギルド社会の思想からすれば画期的なものであった。

この考え方に基づく生産方式は「イゾラ方式」と呼ばれ、小集団で一機種を担当するため、一専多能化の推進や作業の単調化の解消に役立つことになった。この系譜はスエーデンのボルボ社に導入され、我国では本田技研工業（株）熊本製作所のフリーフローライン（作業者の意志に従って速度調整が可能）に結実している。

安全最優先

大正元年、当時の米国で提唱されていた「セーフティーファースト」を足尾銅山の所長であった小田川全之が「安全専一」として訳して普及させていた。

その後、大正5年、逓信省管理局長内田嘉吉は、世界第一の製鋼会社USスチール社のエルバート・ジャッジ・ゲーリー社長の言葉を「安全第一」と訳して普及に努めて、今日

の安全第一の定着となっている。

しかし、時は移り80余年を経過しているため、マンネリ化、風化が進んでいる様に思われるため、私は「安全最優先」を提唱したいと考えている。

現在、労働省では第9次労災防止運動中であるが、平成10年度の労災死亡者1844名、労災保険新規受給者60万人ということで、身近の人々が労災という痛ましい怪我をしているので、微力乍ら常日頃安全に取り組んでいるわけである。

安全信条

昭和49年以降今日まで安コンの仕事が続けた中で、私の関与した会社の中で8社が安全関係で労働大臣賞を受賞している。

この指導理念としては「常を疑うべし」という事である。

新しい機械であっても、材料の取り違いミスや設計ミスによって異音の発生や故障の

発生も有り得るわけで、バスタブ曲線(図1)がその証明をしてくれている。

また、日韓技術士交流事業で慶州の地を訪問した際、瞻星台(セウダイ:天文台で、2000年前の建立)についての説明を聞いた。365個の大きな石積み構造であるが、先人達はこれで大丈夫とは思わなかった。その理由は、地面に白アリが巣を作ると空洞となり、地耐力が低下して、やがては塔は転倒するため、地面に漆喰を固めてあるとのことで、先人の知恵の素晴らしさに驚いたものであった。小事は大事を崩すとも言われている。

おわりに

物事の始まりは協力も得られ元気よくスタートするものであるが、月日の経過と共に段々と意識も薄れて行くことがよくある例である。「継続は力なり」の通り研究会を全員で盛上げて行きたいものである。

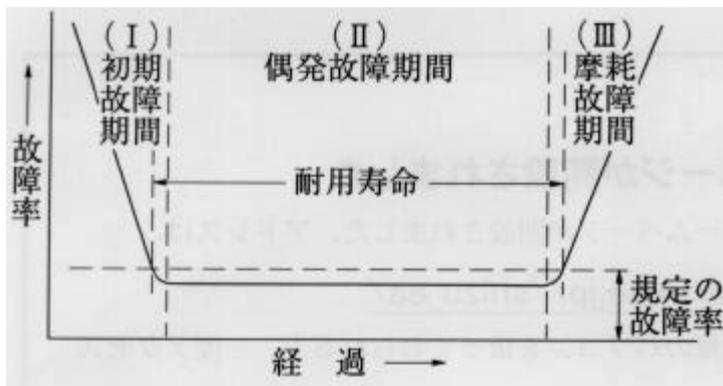


図1 バスタブ曲線



【本田宗一郎氏 直筆】

【行事案内】

99年度第1回協会内研究会（「安全衛生」）のご案内

99年度事業計画の中で承認されています「部門別研究会活動」を今回具体化致しました。本年度最初の「安全衛生」研究会を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。多くの方々のご参加を希望しております。

記

- 日 時： 1999年10月30日（土） 10：00～12：00
- 会 場： ポリテクセンター静岡（静岡職業能力開発促進センター）
〔静岡市登呂3丁目1番35号 TEL:054-285-7184 FAX:054-285-5192〕
- 研修テーマ： 安全パトロールの効果的進め方（副題：労働安全衛生マネジメントシステム）
- 講師紹介： 加藤幸男先生
（旭技術事務所代表取締役 技術士・労働安全コンサルタント）
- 内 容： 講義（1.5H）と質疑応答（0.5H）
専業コンサルタントの加藤幸男先生から安全衛生に係るコンサルタント業の経験談をご紹介します。
- 参加費： 2,000円 当日

参加申込みの期限は10月15日です。

同封の申込書をFAXにて事務局（電業社 勝又幸雄）へ送信して下さい

（FAX：0559-75-5785）

【事務局より】

協会のホームページが開設されました

静岡県技術士協会のインターネット・ホームページが開設されました。アドレスは、
http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/

現在パソコンをお持ちで接続可能な方、職場のパソコンを扱っておられる方、一度アクセス（接続）してみてください。

内容は、逐次追加、更新してまいります。事務局と会員の皆様の連絡窓口として、情報共有の場として活用してまいりたいと考えております。ご意見を事務局までお寄せ下さい。

なお、開設にあたりましては、そのシステム管理等の担当を山下久吉会員に委嘱いたしました。

広報担当の自己紹介

昨年4月からおもに会報の編集・発行を担当してまいりました広報担当の顔ぶれを自己紹介風にお伝えします。「顔の見える執行部」たる試みのひとつとして誌面を拝借いたします。



symbol key

担当になったとき考えたこと。

担当して得たもの。

今後について思うこと。

稲葉 弘之（水道部門）1991年入会、駿東郡長泉町在住

広報担当どころか学級新聞の係りさえ逃げ回ってきたものですから、担当を仰せつかった当初は、正直申しまして「こまったもんだ」と思いました。

パソコン操作の向上が顕著。（自分から言うのは変ですが）

協会のホームページ開設に関わることで通じて苦手をひとつ克服できそうです。

北本 達治（化学部門）1996年入会、三島市在住

伊藤前会長時代の会報がよくできていたので、これをひきつくと同じようにM A CやD T Pのソフトを使ってやらねばならぬか、大変だと身構えました。

こういう役目を頂き、広報編集以外でも協会の色々な行事に際しお手伝いする機会が増えました。

このおかげで更に面識をひろげることができました。

総会で提議された山下先生のお力で、立派なホームページができました。

この中身の充実のお手伝いをしていきたいと考えています。

勝又 幸雄（機械部門）1991年入会、裾野市在住

機械メーカー勤務の忙しい立場にあることから、「これは大変だな！」と、かなり不安でした。

人的ネットワークが広がりました。（私が本会に入会した目的のひとつでもあります）

本会の今後の発展に少しでもお手伝いが出来れば幸いです。

本来ならばこのような記事は拝命直後に掲載すべきものかと思いますが、上のようなスリーショットの写真がないこと、馴れない会報編集にかかりっきりで心の余裕がなかったことから、おくれげながらの対応と相成りました。お詫び申し上げます。

会員の消息

敬称は略させていただきます。

新規入会

氏名

生年月日

技術部門（登録番号）

最終学歴

勤務先

土橋 弘（とばし ひろし）

衛生工学部門（19845）

土橋技術士事務所

大井 寿彦（おおい としひこ）

応用理学部門（38968）

（株）東日

退会・休会

島田 稔（機械）

1999.6/10退会

藤田 欣一（機械）

1999.7/6退会

本川 英佑（農業）

1999.5より2年間休会



【会費納入について】

会費の納入がお済みでない会員の皆様には納入お願いの手紙を送らせていただいています。昨年度末から会費納入専用の振り込み用紙の同封もはじめています。なるべく早くご送金ください。また、既に払い込みを済ませた方にも届いてしまうことがあるかもしれません。事務上の行き違いについては悪しからずご容赦くださいますようお願いいたします。

年会費 ¥ 6,000 です

住所変更

鈴木 悦郎（建設）

新住所

TEL

振込先

静岡銀行 御殿場支店 普通 0634554

【静岡県技術士協会 会計 小川誠慈】

協会財政逼迫の折、特段のご配慮を重ねてお願いいたします。

編集後記

会報No.89をお届けいたします。東部地区の執行部に移行して2年目になります。はやいものです。会員増強の一環として、静岡県建設コンサルタント協会の加盟各社を対象に、賛助会員としての入会勧誘を実施しました。また、インターネット・ホームページの開設も実現し、執行部らしい事業推進に近づいてきたように感じられます。執行部は平均年齢の若さだけが取り柄、いきおい拙速の傾向があります。今後とも電話、ファックス、インターネットをつうじて、ご意見・ご叱責・ご感想なんでも結構です。情報をお待ちしています。

12月には会員名簿の補足版を発行します。現行の名簿に載っていない新規入会の方々が相当数になります。これにともなって、次回の会報No.90は、来年3月の発行とさせていただきます。

編集担当